

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590900023		
法人名	有限会社プラントス		
事業所名	グループホームみさと		
所在地	秋田県鹿角市花輪字寺ノ後42番地10		
自己評価作成日	平成25年2月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	平成25年2月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホーム全体の行事のほか、個別レクリエーションを取り入れ、ご本人様にあったレクリエーションをスタッフが検討し、買い物や外食、温泉での入浴などご本人様のご希望を取り入れたたり、楽しみを持っていただけるように心身の状況をみながら随時行うようにしている。食事(副食)は隣のデイサービスからいただいているが、家事にしばられる時間が減る分、利用者様とゆとりある時間をもちながら生活するよう心がけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

デイサービス事業所を併設し、利用者同士が交流する機会をつくっています。個々の生活ペースに合わせて個別の対応を心がけ、理念の実践ができるよう努力されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「安心・安全で穏やかな生活の実現」「笑顔でゆとりある楽しい暮らしの提供」を理念に掲げ、日頃からそのようなケアが提供されるように話し合い、実践されるようにしている	ホームの開設時に職員が話し合って理念を策定し、各ユニットに掲示して共有し、実践に繋げています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時に声をかけていただいたり、野菜をいただいたりした身近な交流をさせていただいている。今年度は防災訓練に地区住民の方と参加し、顔を合わせる機会を得られた	ボランティアや隣接するデイサービス利用者との交流が行われています。事業開始から2年が経過し、地域と交流できる機会を徐々につくられています。	運営推進会議を活かし、地域の一員として更なる関わりに工夫されることを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	地域の方との交流がまだ少ないが、デイサービスの慰問時等で顔をあわせる機会を得ている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の現状をお伝えし、ご意見を伺う機会としている	今年度は9月に1回開催され、ホームの現況報告を行うと共に、参加者からも意見をいただいています。	民生委員等、地域の方々が多く参加されていますので、会議の意義を理解し、概ね2ヶ月に1回開催してサービスの向上に繋げていかれることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に出席していただき、助言をいただいている	包括とはグループホーム連絡協議会を通じて情報交換され、利用者、家族の支援に繋がっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員研修やマニュアルを整備し、身体拘束に関する理解を深めており、立ち上がり等不安定な利用者様へはコールマット等の利用により、拘束はせずかつ安全なケアができるようにしている	研修を実施して職員の理解に繋げ、拘束のないケアを実践されています。やむを得ず行う場合の必要書類を整備されることを期待します。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	研修のほか、スタッフがお互いに声をかけあいながら、1人で抱え込んだり、負担がかかったりしないよう配慮しながら業務にあたっている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護サービスを利用中の方もおり、支援員さんの訪問時には声をかけあい、情報交換をさせていただいている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書と一緒に目を通しながら、十分な説明をするように心がけている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の会話の中で、ご意見を伺い、ケアに活かせるようにしている	家族とは面会時や電話で状況報告をしながら、また、毎月送付される家族通信を通じて意見が言い出しやすいように努め、運営に反映させています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のユニット毎の会議を設け、積極的に意見を取り入れられるよう配慮している	職員が意見を言いやすい環境をつくり、毎月のユニット会議ではカンファレンスも行い、活発に意見交換されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	経験や力量、仕事内容に応じた社内キャリアパス制度を設け、キャリア給や役職手当などで給与に反映されている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	相当する外部の研修があれば参加できるように配慮されている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月1回の市のグループホーム連絡会議に参加し、横のつながりを持ち、情報交換や学びの機会にしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談時や居宅ケアマネさんからの情報などをもとに、思いを確認している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談時や契約時にご家族様と会話する時間を設け、思いを聞き出すように配慮している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事や作業等(家事や畑等)を一緒に行ったり、利用者様にアドバイスをいただきながら共に活動させていただいている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回の通信の発送などで近況をお伝えしながら、また介護方針や受診の相談等必要があればその都度ご家族様の意見を伺っている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前のかかりつけ医や美容院等、入居後も継続して行けるように支援させていただいている	入居時のアセスメントから利用者の生活を把握し、ボランティアの協力によって趣味の継続支援が行われている他、友人と相互に訪問し合う等、これまでの生活がホームに居ても継続できるよう支援されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室で過ごされる方もいらっしゃるが、AMP Mのティータイムやおやつ時には声がけをし、皆が集まる時間を設けている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族様の依頼を受け、年金手続き等(書類への署名)の支援を行ったりしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話や、ご本人様の行動の中から思いを把握し、ご本人様本位に検討させていただいている	個別に対応することを心がけていることから、日々接しながら利用者の思いやできることを探し、生活に反映できるように努力されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様、ご家族様との会話や、居宅ケアマネさんからのアセスメント等で把握するようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人チャートに記入し、スタッフ全員が閲覧し情報共有できるようにしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様の意向のほか、スタッフ間でカンファレンスを行い、プランへ活かされるように配慮している	3ヶ月毎の見直しを基本に、担当職員、ユニット責任者のアセスメントを踏まえて全員で話し合い、管理者が中心となって介護計画を作成しています。	介護計画に基づいた記録となるよう職員への意識付けを図り、話し合っ工夫されることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	チャートへの記入、スタッフ間での連絡ノートに記入することにより、情報を共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族様の他、入居前のご友人、地域の民生委員さん等の面会や協力を得ている		
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者様、ご家族様の意向をもとにこれまでの個々のかかりつけ医の受診を継続できるように支援している。受診はご家族様が対応できないばあいにはホームで対応し、また状況によってはご家族様とホームスタッフ一緒に対応することもある	利用者、家族の希望に応じて受診されています。職員が介助した時には家族に報告しており、受診記録を残しています。緊急時の対応手順を決めて、適切に支援されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職を配置していない		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中もご家族様のもとに応じ、洗濯物の回収やオムツの補充などで見舞い、その都度看護師さんと情報交換をしている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時や状況を見て必要時には、重度化した場合に設備面で対応が難しいことや医療行為が発生した場合には対応ができない旨を説明、またその際には他のサービスを紹介する等の支援を行っている	終末期の体制にないことを入居時に説明されており、家族からの希望はないものの、利用者の状況が変われば改めて話し合うことにしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを各ユニットにおいたり、また職員研修等で学びの機会を得ている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを各ユニットにおいて周知しているが、実際の訓練が行われていない	地区の防災訓練に参加し、ホームでは避難訓練に併せて通報訓練、消火訓練が行われています。	運営推進会議を利用して地域の協力体制を構築されることを期待します。また、夜間を想定した避難訓練を予定しておりますので、実現に向けて検討されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声かけに配慮するよう心がけている。入浴や排泄等ではその都度の個別対応で、特に誇りやプライバシーが損なわれないように対応している	開設当初と比較して、その人に適した声かけになっていない状況が散見され、カンファレンスで話し合って対応に気をつけています。トイレの出入り口はアコーデオンドアになっています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自然な会話の中から思いや希望を聞きだしたりできるような声かけを行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様のペースで自由に生活していただいております。その都度必要な支援を行っています。補水等の時間も、状況をみてご本人様の様子に合わせて時間をずらすなどしておこなっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	衣類を選択を一緒に行ったり、その都度ご本人様の希望に沿って支援を行うようにしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付けや食器拭き等を一緒に行ったり、夏場は畑の野菜を収穫し調理している。	隣接のデイサービスで調理され、食事の準備から後片付けまで利用者ができることを職員と一緒にしています。だまこ鍋等の季節に応じた献立やバイキングを予定する等、楽しみに繋がるよう検討されています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を用いて把握し、状況に応じてその都度水分をすすめたり、好みの飲み物を用意して摂取していただけるように配慮している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い、必要に応じて見守りまたは介助を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、間隔やご本人様の様子をみながらトイレ誘導を行っている	チェック表を活用して失敗を減らすよう適切に誘導し、トイレでの排泄を支援されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取の確認や適度な運動(散歩や体操)を促すようにしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日は特に定めず、ご本人様の希望やその日の状態をみて入浴していただくようにしている。ご本人様の気分がのらない場合は無理をせず、タイミングをみて声がけをする等配慮している	利用者の希望に応じた入浴支援が行われ、毎日の利用も可能です。拒否する利用者にも無理強いせず、翌日にずらしたりしながら、週に3回は入浴できるように支援されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様の様子をみて、休息を促したり、夜間眠れない時には会話をしたり、飲み物を提供する等穏やかに休んでいただけるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々に受診記録票を記入しており、服薬の変更等についても全員が目を通すことができるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事や畑仕事など、分担しながら協力して行っていただけるよう支援している。ボランティアさんの協力で将棋をしたり、ワンカップの提供等、楽しみを持っていただけるようにしている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	天気をみながら散歩や、夏場は畑へ収穫に出たり、全体レクのほか、個別レクで外食やなじみの場所へのドライブ等外出の機会をもうけるようにしている	散歩や買い物、外食等が利用者の希望に沿って個別に対応されています。隣接するデイサービスの利用者との交流も行われています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームでお預かりしているおこづかいの他、個人で財布を所持している方もおり、外出等の際に使用できるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状をかいたり、希望時には電話を使用できるよう支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	中庭に季節の花を植えたり、イルミネーションを飾るなどし、また各リビングは季節に応じた壁面飾り等で季節を感じられるように配慮している	事務室を中心に各ユニットの往来ができ、廊下のソファや畳スペースで思い思いに過ごせる環境づくりをされています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	ソファを置いたり、畳の小上がりなどの場所でリビングとは違った空間を利用し、自由に過ごしていただけるよう支援している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、ご自宅で使い慣れたものやなじみのものをお持込いただくよう声がけをしている。写真や人形など、思い思いのものを持ち込んでいただいている	ベッド、収納スペースが完備され、テーブル等の使い慣れたものを持ち込んで、利用者個々に居心地良く過ごせる居室づくりをされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室がわからない方に対して、居室入り口に飾りをつけたりして目印にしている		